



online seminar

#34

2/22 (水)

18:30-20:30

「子どもゆめ基金」助成活動

学 び の 会

生きづらさをかかえた子どもに 本との出会いを ブックリスト『あしたの本だな』をつくる

JBBY
希望
プロジェクト
学びの会
2022年度-③

■ 子どもゆめ基金助成活動

JBBY 希望プロジェクト・学びの会

生きづらさをかかえた子どもに、本との出会いを ブックリスト「あしたの本だな」をつくる

お申し込みはこちらから▼



日 時 | 2023 年 2 月 22 日 (水) 18:30▶20:30

<https://jbbyonline034.peatix.com/>

会 場 | オンライン (開場 15 分前)

対 象 | 大人 (高校生以上可)

定 員 | 200 人 (申込先着順)

参加費 | 無料

*パネリスト

さくまゆみこ (翻訳家 / JBBY 会長)

大塚敦子 (作家・ジャーナリスト)

村中李衣 (児童文学作家)

中島尚子 (国立国会図書館)

清水由紀乃 (学校図書館司書)

神保和子 (家庭文庫 / JBBY 理事)

野坂悦子 (翻訳家・大学講師)

町田りん (大学非常勤講師・学校図書館司書)

山中かおり (学校図書館司書)

和田直 (翻訳家)

土居安子 (大阪国際児童文学振興財団 / JBBY 理事)

昨年できたばかりのブックリスト「あしたの本
だな①②」について話します。

JBBY 希望プロジェクトでは、少年院や鑑別所の職員の方々から「おすすめリスト」がほしいという要望を受け、リストの作成を進めてきました。書影や紹介文も入れて完成したこの「あしたの本だな」は、子どもと本との出会いをつなぐブックリストです。少年院などに限らず、さまざまな生きづらさを抱えている子どもがいる場でも、参考にいただけるかと思います。

選書に関わった本の専門家たちが、ブックリストの意図、本の見せ方・使い方、事例等について話し、選んだ本を紹介します。

■お願い■ この活動では、子どもゆめ基金への報告のために、モニター上で参加者の写真を撮影させていただきます。子どもゆめ基金に提出した個人情報(写真)は「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

主催：日本国際児童図書評議会 (JBBY)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-5F ☎ 03-6273-7703 <https://jbby.org/>

あしたの本だな

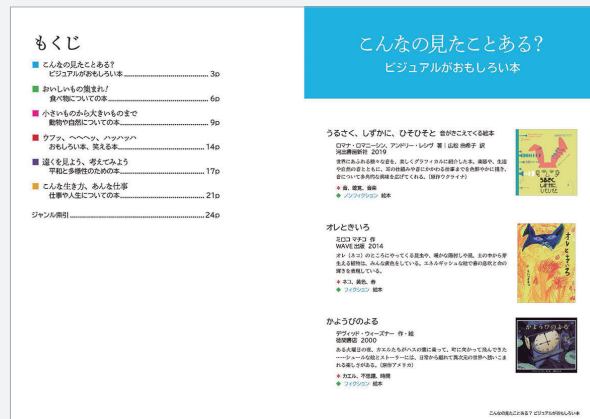
子どもや若い人と本との出会いをつなぐブックリスト



「あしたの本だな①」

B5 判 / カラー / 24 ページ / 67 タイトル掲載

様々な環境や事情により、本に出会うチャンスが少なかった子どもや若い人、また、本との新たな出会いを求めている子どもや若い人に向けて、①では、手に取ってみたいくなるような本を選びました。表紙がユニークで魅力的な本ばかりです。ぜひ、表紙が見えるように並べてください。



「あしたの本だな②」

B5 判 / カラー / 28 ページ / 108 タイトル掲載

少しずつ本の面白さが分かってきた子どもや若い人たちにに向けて、②では、じっくり眺めて、読んで、新しい興味が湧いてくるような本を、多様な分野から選びました。本棚に普通に並べてください。



JBBY

▶ 主催・問合せ先

日本国際児童図書評議会 (JBBY)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-5F

Tel: 03-6273-7703 Email: info@jbbj.org

JBBYとは――

日本国際児童図書評議会の略称。IBBY の日本支部として 1974 年に創設されました。会員（現在、個人約 500 人、法人約 70 社）の支援と協力に支えられ、「子ども・本・平和」をキーワードに、子どもの本に関する国際協力機関として国内外で活動を続けています。「国際アンデルセン賞」をはじめとする子どもの本の国際的な賞に日本の作品や作家を推薦したり、英文のブックリストを発行したりして、日本の子どもの本に関する情報を海外へ発信しています。国内では、「世界の子どもの本展」や「バリアフリー児童図書展」の巡回、講座や講演会の開催、ブックリストの発行などを通じて世界の優れた児童書を日本の出版関係者や読者に紹介しています。

